

市庁舎いよいよ建設へ 鉄筋コンクリート三階建

＝ 完工は来年六月頃 ＝

市政の殿堂―新市庁舎を下元級の公民館跡に総工費六千五百万円の予定で計画中でありましたが、去る八月二十六日の市議会で五千八百三十五万円を

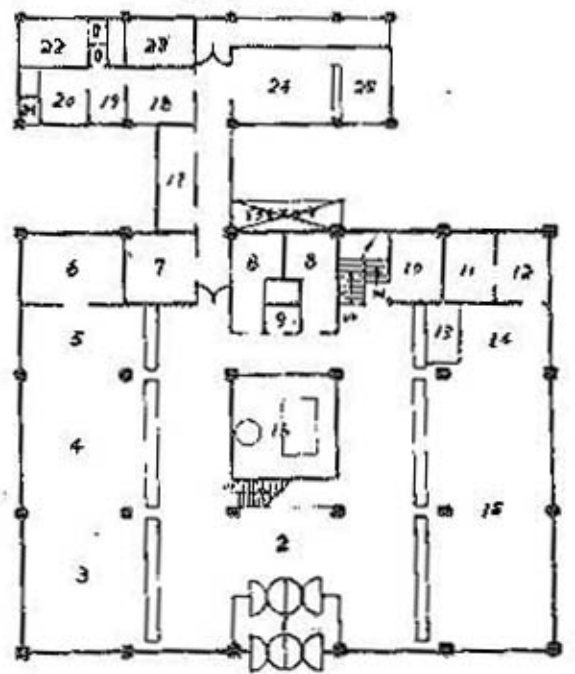
もつて清水建設株式会社と契約を締結することに決まりましたので、

八月末から一千四百坪の敷地整備に着手し、九月九日には地鎮祭が挙行されました。

この市庁舎は大体現庁舎の二倍半くらいの大きさで鉄筋コンクリート造り地下(一部)一階、地上三階、延建坪六百六十五坪、高さ約七十二尺(二十二米)のものです。

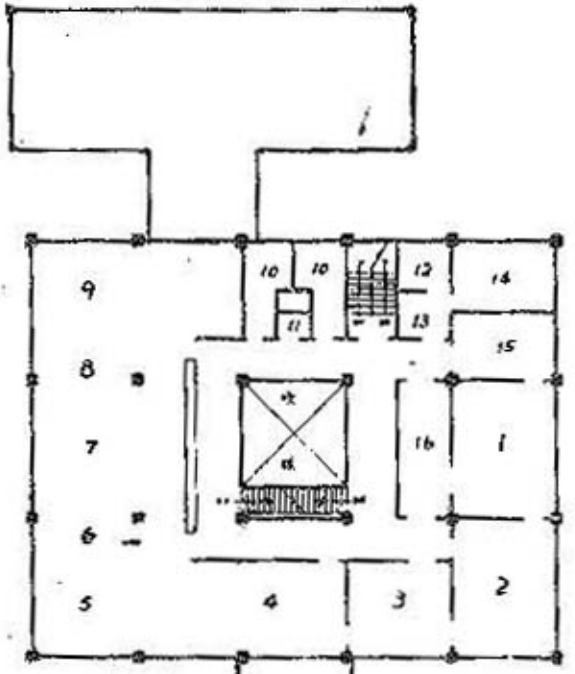
設計は日建設計工務株式会社、工事は突貫工事で大正九年の六月末日までに完成される予定になっております。各階の見取図は下記のとおりです。

(一階 平面図)



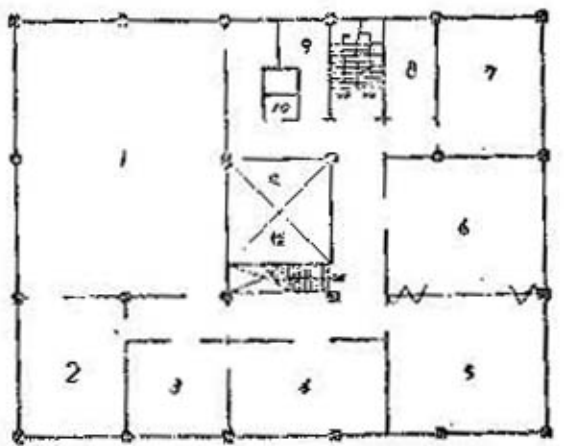
- 22 議事室
- 23 議事室
- 24 議事室
- 25 備小食調
- 1 市役所
- 2 市長室
- 3 助役室
- 4 総務課
- 5 教育委員室
- 6 商工課
- 7 林務課
- 8 健康課
- 9 便所
- 10 湯
- 11 湯
- 12 クイップ
- 13 貯書室
- 14 電高交換室
- 15 小会議室
- 16 秘書室
- 17 車庫
- 18 金庫
- 19 金庫
- 20 金庫
- 21 金庫
- 26 衛生課
- 27 衛生課
- 28 衛生課
- 29 衛生課
- 30 衛生課

(二階 平面図)



- 1 市長室
- 2 助役室
- 3 総務課
- 4 教育委員室
- 5 商工課
- 6 林務課
- 7 健康課
- 8 健康課
- 9 健康課
- 10 健康課
- 11 健康課
- 12 健康課
- 13 健康課
- 14 健康課
- 15 健康課
- 16 健康課

(三階 平面図)



- 1 議事室
- 2 議員室
- 3 議員室
- 4 議員室
- 5 議員室
- 6 議員室
- 7 議員室
- 8 議員室
- 9 議員室
- 10 議員室

荒鷹橋付帯工事追加予算など可決

八月の臨時市議会

八月には七日、二十六日と二回にわたつて臨時市議会が招集されました。

この市議会では次の議案が審議されそれ／＼原案どおり可決されました。

主なものについて説明しましょう。

◇市税条例の一部改正

改正された主な点は木材引取税の税率を百分の五から百分の四に引下げたことと、小口の固定資産税(税額が二百円以下)が今まで四回にわけて納付していたときましたのを一回で金額納入するようになったことの二点です。

◇雁ヶ原スキー場擴張

冬の観光客を更に多く誘致するため、約二町三反を擴張整備し北陸一のスキー場をつくることにしました。

◇追加更正予算について

総額は四百一十四万九千九百円で大休次のことに使われます。
西校々舎増設不足分二十七万八千円、北部中学電気引込工事七十一万三千八百円、市営テニスコート十五万六千円、狭野機購入二十六万円、夏期大学不足分四万円、NKK移動相談十三万円、勝山中学校足洗場用水路修繕五万五千円、給食材料八万三千円、理科教材三十万、薬劑撒布機一三万五千円、運羽忠魂碑建立補助三十万円、比島住宅付帯設備一萬五千円、雁ヶ原スキー場の山小屋建築、スノーボード購入など三十万五千円、荒鷹橋付帯橋梁及道路改善百六十万円。

これらの財源は自己財源のほか国庫補助その他によつてまかなわれることになっていきます。

◇市廳舎建設工事請負契約

も同意され、別面所報どおりいよく着工する運びになりました。

自己宣言書

願書締切は九月三十日

▽応募資格

新制中学校卒業程度の学力を有

基本選挙人名簿を調製

有権者はもれなく登録を!!

ことしも九月十五日現在で引続き三ヶ月以来市内に住み滿二十才以上の日本国民を対象に市選挙管理委員会では「基本選挙人名簿」をつくることになりました。

そこで市選管では、まづ住民登録簿などを参考にして「選挙人名簿登録調書」をつくつて、これを各世帯にまわして有資格者にハンをおしてもらふことにしました。

この基本選挙人名簿に登録される人は次の要件が備えていなければなりません。

- 1、ことしの六月十六日から引続き市内に住んでいること
- 2、昭和十二年十二月二十一日以前に生れた者であること
- 3、次の事項に該当しないこと

◎禁刑者

◎禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終るまでの者

◎選挙に関する犯罪により、禁錮以上の刑に処せられその執行を受けることがなくなるまでの者及び同罪により選挙権を停止された者

もし、右の要件が具備しているのか、わからず、有権者のみなさんのお手許にまわし

し、昭和三十三年一月一日現在で満十八才以上、二十五才未満の者

▽採用試験

中学卒業程度の簡単な筆記試験(国語、社会、数学)口述試験及び身体検査が十月二十二日福井地方連絡部において行われま

▽志願手続

志願者は市役所給務課又は出張所で志願書二通を受取り所要事項を記入したうえ、五円切手を添えて全所へ九月三十日まで提出して下さい。

ました基本選挙人名簿登録調書に載つていなかったら、調書の末尾の空欄に書きこんでおいて下さい。

市選管では、みなさんのご協力によつてできたこの調書を主台にして選挙資格の有無を調査し十月三十一日まで約二万二千名の基本選挙人名簿をつくつて、これをつて市役所で関係者にみていただきます。

もしこの名簿に登録される人下落ちていたり、名前に誤りがあったりしたときは、右の期間中異議の申立ができることになっています。

来年は重要な選挙が控えていますから折角選挙権をもつておられてもこの名簿に載つていなければ投票はできません。

つまり参政権の行使ができないことになりまますから選挙の意義を十分に理解され、勝山市の有権者が一人もこの基本選挙人名簿から洩れないようご協力下さい。

保母試験

願書提出九月三十日まで詳しい事は民生課へお問合せ下さい。

(明表一のイ)

昭和31年度勝山市一般会計歳入歳出予算並びに収支状況一覧表

歳入の部		予算現計	収入済額	収歩合	予算に対する過不足	備考
1. 市民税		115,729,000	120,568,944	104.18	4,839,944	△印は不足
2. 地方交付税		26,405,100	26,835,000	101.63	429,900	
3. 公営企業及財産収入		2,485,000	1,354,755	54.52	△1,130,245	
4. 分担金及負担金		1,510,100	640,650	42.42	△869,450	
5. 使用料及手数料		5,011,900	4,975,777	99.28	△36,123	
6. 国庫支出金		27,505,500	19,263,346	70.04	△8,242,154	
7. 県支出金		12,123,800	7,274,239	60.00	△4,849,561	
8. 寄附金		12,101,500	8,181,054	67.60	△3,920,446	
9. 繰入金		1,143,200	1,143,226	100.00	26	
10. 繰越収		1,881,300	2,724,932	144.84	843,632	
11. 雑収		81,300,000	76,800,000	94.46	△4,500,000	
12. 市計		287,196,400	269,761,923	93.93	△17,434,477	
歳出の部		予算現計	支出済額	支歩合	予算残額	備考
1. 議会費		3,245,500	3,189,968	98.29	55,532	× × × × × × × × × × × × ×
2. 市役所費		41,589,920	41,442,947	69.65	146,973	
3. 消防費		8,595,935	8,495,608	98.83	100,327	
4. 土木費		27,088,550	23,391,188	89.66	3,697,362	
5. 教育費		54,054,761	47,938,919	88.69	6,115,842	
6. 社会及労働施設費		25,126,011	23,916,185	95.18	1,209,826	
7. 保健衛生費		13,348,428	11,031,806	82.64	2,316,622	
8. 産業経費		27,653,968	22,261,659	80.50	5,392,309	
9. 財産費		3,766,300	3,601,409	95.62	164,891	
10. 統計調査費		266,400	205,100	76.99	61,300	
11. 選挙費		483,890	465,015	96.10	18,875	
12. 公債費		12,560,000	12,553,368	99.95	6,632	
13. 諸支出金		68,646,282	68,272,650	99.46	373,632	
14. 予備費		770,455	—	—	770,455	
市計		287,196,400	626,765,822	92.89	20,430,578	

歳入歳出差引残額 ¥ 2,936,101円也 (昭和32年度へ繰越)

昨年の市の財政事情

赤字棚上げから積極的建設へ

去年の四月一日から今年三月末日までの市の財政事情を公表します。

昨年は市政発足以来頭痛の種となつていたあの六千百万円の赤字を財政再建法により国への起債に切換えられ、漸く赤字財政も一息棚上げの形になり新生田園都市としての建設事業に邁進することができるようになりました。

ところが、財政再建法の適用を受け、国の起債が認められ、借入れを了えるときは、もうすでに降感期の一月に入つていましたので、昨年度に計画しました諸事業は暫くため延びてしまい、このため一般会計は次のとおり約二千三百

百万円が事業繰越しの形で今年度へ持越されることになりました。
土木費Ⅱ大蓮寺川の都市排水事業費、百七十九万九千九百九十七円

教育費Ⅱ北部中学校の整備費 三百七十七万七千二百円

社会労働施設費Ⅱ中央保育所建設費 三百十九万円

保健衛生費Ⅱ片瀬、大袋の水道建設事業費 三百八十四万円

産業経費Ⅱ新農村建設総合施設費 十四万七千六百円

一方人員整理による退職手当分として国から三百五十万円の起債が認められ、これで合計六千四百五十万円を国から財政再建のため借入れたわけです。
こうして昨年度は利子の高い一時借入金を利用の安い国への起債に衣替えし、赤字という足まとい

をふり払い、他市に負けないように大勝山市を目指して積極的な建設事業にまい進していく地固めをいたしました。
これひとえに市民のみなさんの心からの協力の賜と深く感謝する次第であります。
今年度においては前記の繰越事業の完遂はもちろん、荒尾橋の大改修、北部中学の建設継続と、小原分校の改築並びに都市計画事業都市排水事業などの遂行、加えて新市庁舎の建設と地道乍らも新市の建設は高らかに響いてやまないものであります。
なおくわしいことについては別表をごらん下さい。

(別表二)

財産公債及び一時借入金現在高
(昭和32年3月31日現在)

(1) 財 産

1. 不動産の高 (関係年限による)

建築物数.....16,013坪0.4c
 敷地数.....30,617坪7合4c
 宅地数.....19,849坪6合6c
 山林面積.....2,630町2反7セ07歩39
 (保文林を含む)
 その他の土地面積.....19町7反4セ12歩

2. 積立金の部

新庁舎建設資金.....2,700,000円
 3. 有価証券.....20,000円
 4. 造林見積価格.....53,590,000円

(2) 公 債

1. 公債費途別未償還額

普通土木債.....4,000,000円
 農業土木債.....14,300,000円
 災害土木債.....4,155,839円
 都市計画法債.....2,500,000円
 教育債.....24,093,550円
 災害教育債.....36,604,935円
 住宅建設債.....4,138,178円
 消防債.....1,138,709円
 新庁舎復旧債.....779,707円
 保健衛生債.....1,174,541円
 造林債.....3,000,000円
 退職手当債.....3,500,000円
 公益債.....2,000,000円
 歳入欠かん補填債.....61,000,000円
 計.....162,385,459円

2. 公債借入先別未償還額

資金運用部.....101,085,459円
 簡易保険局.....12,400,000円
 福井銀行.....45,900,000円
 その他.....3,000,000円
 計.....162,385,459円

3. 公債借入利率別未償還額

4分5厘.....3,000,000円
 6分3厘.....12,000,000円
 6分5厘.....101,304,554円
 7分.....180,905円
 7分9厘.....45,000,000円
 8分以上.....900,000円
 計.....162,385,459円

(注) 財政再建債として6分3厘中に350万円
 6分5厘中に1,600万円、7分9厘中に4,500万円
 合んでいるが、これはいづれも国庫の利子
 補給金が交付されますので市としての実際
 の利子負担は4分01厘です。

(3) 一時借入金.....なし

(別表一のロ)

昭和31年度 (特別会計) 勝山市基本財産造成事業費歳入歳出予算並びに収支状況一覧表

歳 入 の 部					歳 出 の 部				
科 目	予算現額	収入済額	収 入 予 算 対 照 率	備 考	科 目	予算現額	支出済額	支 出 予 算 対 照 率	備 考
1. 財産収入	1,139,000	1,195,710	104.98	56,710	1. 財産費	3,114,700	3,097,675	99.45	17,025
2. 使用料及手数料	4,000	11,000	275.00	7,000	2. 公債費	135,000	135,000	100.00	-
3. 県支出金	180,000	324,160	180.09	144,160	3. 諸支出金	-	-	-	-
4. 繰入金	1,894,200	1,647,805	86.99	246,395	4. 予備費	21,500	-	-	21,500
5. 寄附金	54,000	54,000	100.00	-					
計	3,271,200	3,232,675	98.82	38,525	計	3,271,200	3,232,675	98.82	38,525

歳入歳出差引残額なし

(別表一のハ)

昭和31年度 (特別会計) 勝山市公益質屋事業費歳入歳出予算並びに収支状況一覧表

歳 入 の 部					歳 出 の 部				
科 目	予算現額	収入済額	収 入 予 算 対 照 率	備 考	科 目	予算現額	支出済額	支 出 予 算 対 照 率	備 考
1. 事業収入	2,691,400	2,668,816	99.16	22,584	1. 事務所費	626,600	595,434	95.03	31,166
2. 雑収入	100	13,490	134.90	13,390	2. 運営費	4,000,000	3,482,970	87.07	517,030
3. 繰入金	566,500	451,722	79.74	114,778	3. 公債費	130,000	113,661	87.43	16,339
4. 繰越金	1,508,600	1,508,600	100.00	-	4. 予備費	10,000	-	-	10,000
計	4,766,600	4,642,628	97.40	123,972	計	4,766,600	4,192,065	87.95	574,535

歳入歳出差引残額 ¥ 450,563円也 (昭和32年度へ繰越)

(別表一のニ)

昭和31年度 (特別会計) 勝山市奨学資金歳入歳出予算並びに収支状況一覧表

歳 入 の 部					歳 出 の 部				
科 目	予算現額	収入済額	収 入 予 算 対 照 率	備 考	科 目	予算現額	支出済額	支 出 予 算 対 照 率	備 考
1. 寄附金	100	-	-	△ 100	1. 奨学資金	132,000	132,000	100.00	-
2. 借入金	100	-	-	△ 100					
3. 繰入金	131,800	132,000	100.15	200					
計	132,000	132,000	100.00	-	計	132,000	132,000	100.00	-

歳入歳出差引残額なし

新しい市農業委員會委員決る!!

會長に田中仁左工門氏を選任

席次	選挙区	選挙	推薦	役職名	住	所	氏名
1	選	推	推	農地部会長	勝山市野向町	藤師神谷	金藏 伊太郎
2	推	推	推	農地部会長	村岡町	深谷	長谷川 武夫
3	推	推	推	農地部会長	北谷町	杉山	広田 新一
4	推	推	推	農地部会長	平泉寺町	平泉寺	安岡 久
5	推	推	推	農地部会長	岡横江	岡横江	乾 与兵衛
6	推	推	推	農地部会長	尾	尾	鳥山 忠敬
7	推	推	推	農地部会長	高島	高島	福田 外吉
8	推	推	推	農地部会長	富田	富田	伊藤 国男
9	推	推	推	農地部会長	立川	立川	義岡 一馬
10	推	推	推	農地部会長	上元祿	上元祿	久保 正治
11	推	推	推	農地部会長	下荒井	下荒井	中村 八太郎
12	推	推	推	農地部会長	嶗崎	嶗崎	鳥田善左衛門
13	推	推	推	農地部会長	若猪野	若猪野	鳥山新左門
14	推	推	推	農地部会長	北山	北山	斎藤孫左門
15	推	推	推	農地部会長	大渡	大渡	山端 嘉也
16	推	推	推	農地部会長	五本寺	五本寺	斎門 六右工門
17	推	推	推	農地部会長	横倉	横倉	宮越 静栄
18	推	推	推	農地部会長	谷	谷	山内 庄一郎
19	推	推	推	農地部会長	坂	坂	但馬 九
20	推	推	推	農地部会長	保田	保田	香田 彰
21	推	推	推	農地部会長	波	波	藤沢 作助
22	推	推	推	農地部会長	北西	北西	石田 喜太夫
23	推	推	推	農地部会長	新保	新保	道林 鏡雄
24	推	推	推	農地部会長	布市	布市	黒田 清猛
25	推	推	推	農地部会長	中尾	中尾	山崎 清之
26	推	推	推	農地部会長	北宮地	北宮地	滝本 孝之
27	推	推	推	農地部会長	北宮地	北宮地	石井 清治
28	推	推	推	農地部会長	北宮地	北宮地	松田 武治
29	推	推	推	農地部会長	別所	別所	荒羽九郎右工門
30	推	推	推	農地部会長	片瀬	片瀬	松下 楨
31	推	推	推	農地部会長	伊知地	伊知地	近藤 平右工門
32	推	推	推	農地部会長	志比原	志比原	小林 広
33	推	推	推	農地部会長	志比原	志比原	伊藤 保
34	推	推	推	農地部会長	志比原	志比原	伊藤 保
35	推	推	推	農地部会長	志比原	志比原	伊藤 保
36	推	推	推	農地部会長	志比原	志比原	伊藤 保

- ①求人先 ②職 種 ③勤く所
④求人数 ⑤賃 金 ⑥年 令

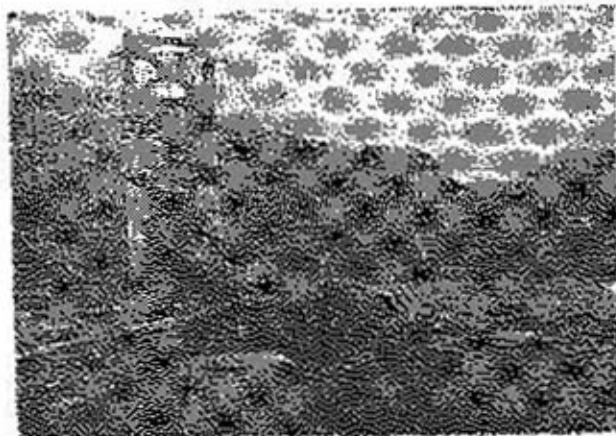
- 金融保険業、外務員、市内、三名、固定給五千元、不問
○織物業、調製工、市内、一名、八千〜一万円、不問
○牛乳製造業、雑役夫、市内、一名、日収三百円、不問
○家具製造業、家具職、市内、一名、七千〜一万五千元、不問
○鉄工所、鍛冶工、市内、一名、日収三百円、不問
○土建業、トラック上乘、市内、二名、日収四百円、不問
○土建業、土工、大野市、十名、日収四〜五百円、不問、住込
○鮮魚仕出業、店員、市内、一名、千五百円、二十才まで住込

女 子

- 織物業、織布工、市内、十名、七〜一万円、四十五才まで、通勤、たゞし十九才までは住込可
○衣服縫製業、縫製工、五名、四千五百円〜六千円、四十才まで
○衣服縫製業、準備工、市内、五名、四〜五千円、五十才まで
○洋品店、呉服店、店員、市内二名、四千円、二十二才まで
○一般家庭、女中、市内、二名、二〜三千円、不問、住込
○縫製造業、製縫工、市内、二名、五〜七千円、三十五才まで

※静岡岡秋李農業労働者募集!!

仕事の内容は、みかん採り、皮まき、種刈りなど、期間は十月二十日から年末まで、待遇は、月二回休日があつて食事付男子月六、五〇〇円、女子は五、〇〇〇円。
そのほか、くわしいことは、職業安定所（〒151、三二六）へお問合せ下さい。



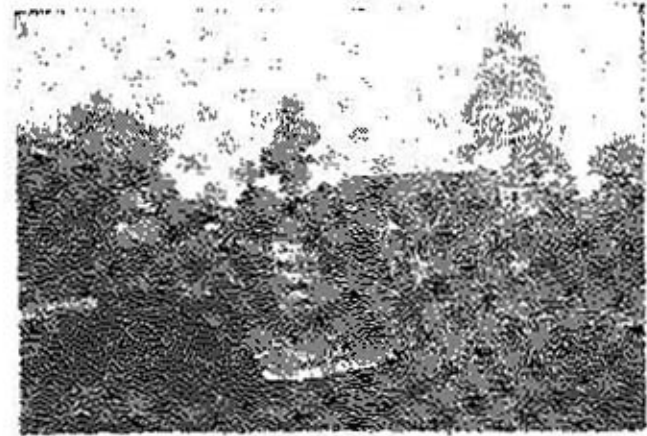
▶ 荒鹿橋改修工事進む ◀

市北部の重要幹線となつている荒鹿橋の大改修工事は総工費1,342万円、6月に着工、橋脚道路の付帯工事を含め近く完成します。



▶ 西校増築工事近く完工 ◀

不正常授業の解消と明春の入学児童の増加に備えて同校裏側に三教室を増築、近日中に完工いたします。



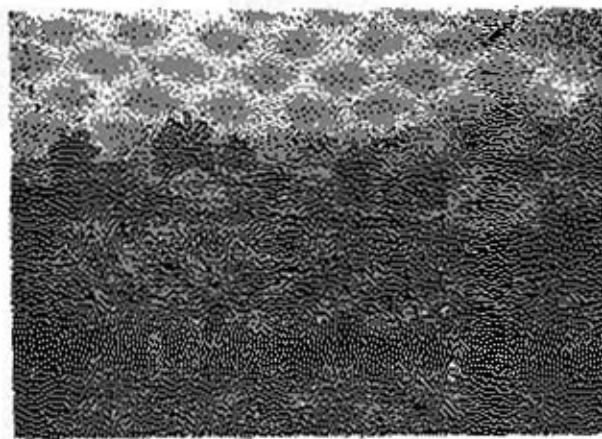
▶ 市庁舎敷地整備にブルさんも活躍!! ◀

残暑まだきびしい八月末、ブルさんはあの巨体と物凄い力で地ならしや抜根作業に大活躍、その威力を見んと集まつた人々で人垣ができたほど。(庁舎は西向き)



▶ 河原通り200米を舗装 ◀

市街地の美化と交通量の増大に伴い地元の方々が総工費96万8千円のうち3分の1を負担して河原通りの舗装を行いました。



▶ NHK夏季移動相談のラジオ体操 ◀

適日催されたNHK移動相談は二日間で約5万2千名の市民らが参加し、さながらNHKデ、迷い子が8人本出てお巡りさんも汗ダクダク、仮設NHK勝山病院も、300名の患者さんで押すな押すなの人祭り



▶ 県下初の乳児保育所開く ◀

市立中央保育所の開所式は去る9月2日挙行されました。収容している乳児は7名、幼児157名、ちようどお昼時、やさしい保育士さんから御飯を頂いています。